

「早稲田人名データベース」について

檜皮瑞樹

1、データベース構築の経緯

二〇一〇年六月に発足した早稲田大学百五十年史編纂委員会（以後編纂委員会と省略）は、二〇一〇年七月の第一回編纂委員会以後、数度の専門委員会と編纂委員会を開催した結果、二〇一一年一二年の編纂委員会において編纂の基本方針を決定した。その経緯と内容については、吉田前所長と大日方現所長の論稿に詳細に記されているため割愛する。

人名データベースに関しては、編纂の基本方針として「②新しい時代に対応した新しい年史の編纂をめざす。データベース化・web版等の充実を同時進行させて、編纂を進める」ことが承認された。これは『早稲田大学百年史』が本編五巻・別編三巻の合計八巻構成であったの比して、『百五十年史』は全三巻構成と圧縮することへの対応であ

り、紙媒体での刊行物に限らず編纂成果を広く公開するための措置でもある。

また、『百五十年史』の関連出版物を企画することも承認された。特に「(3) 事典(大学事典・人名事典) web版のデータベースを進行させ、その充実と活用の促進をはかりながら、成果を蓄積して、事典形式の出版を展望する」ことが決定された。人名事典のプロトタイプとして「早稲田人名データベース」を作成すること、データベースの充実と並行して人名事典の編纂・刊行を検討することが確認され、二〇一二年度以降データベース編纂作業を開始した。

2、データベース編集方針

データベースに掲載人物の選択にあたっては、第一に『早稲田大学百年史』の人名索引に複数回掲載されている六二七人をピックアップした。これは早稲田大学史の根幹文献である『百年史』の記述を尊重すること、文系理系等の偏りを排除することが目的であった。さらに、六二七人から主に戦前期に活躍した人物に絞込みを行い、一三〇人のリストを作成した。

二〇一二年度には、①東京専門学校創設関係者、②学部創設関係者、③歴代総長(存命者を除く)、という三点を基準に、五〇人への絞込みとデータベース化の作業を実施した(項目の設定とデザインについては図①を参照)。各人物の履歴については、基本的に既存の刊行物を参考資料とし、早稲田大学関係の履歴情報については大学史資料センター所蔵の一次資料を参照した。その結果、「早稲田人名データベース」を二〇一三年一月 web 上 (<http://www.enpaku.waseda.ac.jp/db/wsdjime/>)での公開を開始した(50人のリストは表①を参照)。

二〇一三年度は三五人分の追加作業を実施するなど、今後もデータベースの充実を計っていく予定である。



■ 早稲田人名データベース

詳細画面 / Detailed Information

[summary=*]

Detail [Top](#) [Previous](#) [Next](#) [End](#)

ID	014
人名	大西祝
ふりがな	おおにしはじめ
番号・雅号等	木全(旧姓)／操山
生年	元治元年8月7日(1864年9月7日)
没年	1900年(明治33)11月2日
出身地	備前国岡山西田町(岡山県岡山市)
学歴	藩校内「小学」(明治4.1)／明治義塾[のち第一学問所・又新小学校](明治5.1-1877.6)／同志社英学校普通科(1877.9-1881.6)／同志社英学校神学科(1884.6)／東京大学予備門編入(1885.1-1885.7)／東京大学文学部[のち帝国大学文学部]哲学科(1885.9-1889.7)／帝国大学文学部大学院(1889.9-)／ドイツ留学(1898.2—1899.9)
履歴	高等師範学校倫理科講師(1897.11-)／京都帝国大学理工科大学講師(1900.3)
早稲田関係	東京専門学校講師(1891.9-1898.2)／東京専門学校評議員(1897.7-1900.11)
社会的活動	羅馬字日本語方取調委員(1899)／『哲学会雑誌』編集委員長・書記(1888.9)／『教育と宗教の衝突』論争(1892-1893)において倫理学者・キリスト者の立場から井上哲次郎の国家主義を批判／『六合雑誌』編集員(1895.1)
主な著作	『西洋哲学史』(覚醒社書店、1901)／『倫理学』(覚醒社書店、1903)／『論理学』(覚醒社書店、1903)／『良心起原論』(覚醒社書店、1904)
典拠	『早稲田大学百年史』全7巻および総索引・年表(早稲田大学、1978-1997)／『明治文学全集80』(筑摩書房、1974)／平山洋『大西祝とその時代』(日本図書センター、1989)
参考文献	郷孝彦『大西祝「良心起原論」を読む—忘れられた倫理学者の復権』(学術出版会、2009)／御子柴善之「批評主義と世界市民的倫理学—大西祝研究のために」(『早稲田大学史記要』43、2012)／『大西博士全集』全7巻(覚醒社書店、1903-1904)
備考	新島襄より受洗(1878.4)／文学博士(1900.7)
画像	

[リストに戻る](#) / [Back to List](#)[検索画面へ](#) / [Jump to Search Box](#)

表①

氏名	生没年	主な業績
会津八一	1881.8-1956.11	早稲田大学大学部英文学科卒業(1906.7)、早稲田大学文学部教授(1931.2-1945.4)、早稲田大学東洋美術史研究室〔現・早稲田大学會津八一記念博物館〕設立(1934.10)、主な著作に『法隆寺法起寺法輪寺建立年代の研究』(東洋文庫, 1933)
朝河貫一	1873.12-1948.8	東京専門学校文学科卒業(1895)、早稲田大学教授会議員(1907.4-)、イエール大学歴史学教授(1937.7-1942)、主な著作に『The document of iriki: illustrative of the development of the feudal institutions of Japan』(Yale University Press, 1929)
安部磯雄	1865.3-1949.2	東京専門学校・早稲田大学教授(1899.5-, 1907.5-1927.1)、東京専門学校野球部部长(1901.11-1907.3, 1910.1-1926.2)、社会大衆党委員長(1932.7-1940.3)
阿部賢一	1890.8-1983.7	早稲田大学大学部政治経済学科卒業(1912.7)、早稲田大学政治経済学部教授(1922.4-1936)、毎日新聞社取締役、主筆、編集主幹(1940-1946.2)、早稲田大学総長(1966.9-1968.6)
天野為之	1861.2 (戸籍上は1860.1) -1938.3	東京専門学校創設に参画(1882.10)、東洋経済新報社社長(1900.3-)、早稲田実業学校校長(1902.10-1915.8, 1918.12-1938.3)、早稲田大学学長(1915.8-1917.8)
石橋湛山	1884.9-1973.4	早稲田大学大学部文学科卒業(1907.7)、東洋経済新報社代表取締役社長(1941.2-1946.5)、大蔵大臣(1946.5-1947.5)、早稲田大学評議員(1951.10-1962.9)、内閣総理大臣(1956.12-1957.2)
市島謙吉	1860.3-1944.4	東京専門学校創設に参画(1882.1)、衆議院議員(1894.9-1902)、早稲田大学図書館長(1902.9-1917.8)
今井兼次	1895.1-1987.5	早稲田大学大学部理工科卒業(1919)、早稲田大学理工学部教授(1937-1965)、代表作に早稲田大学図書館(1925)、早稲田大学演劇博物館(1928)など
浮田和民	1860.1-1946.10	同志社社員(1898-1899, 1907-1917.5)、東京専門学校・早稲田大学教授(1897.5-, 1907.4-1941)、雑誌『太陽』主幹(1909.1-1919.6)、主な著作に『倫理的帝国主義』(隆文館, 1909)
内ヶ崎作三郎	1877.4-1947.2	東京専門学校・早稲田大学教授(1902.3-, 1911.6-1929.9)、立憲民政党総務(1934.1-1936.4, 1937.5-1937.6, 1940.4-1940.8)、衆議院議長(1941.12-1945.6)
大隈重信	1838.3-1922.1	東京専門学校創設者、早稲田大学初代総長(1907.4-1922.1)、内閣総理大臣(1898.6-1898.11, 1914.4-1916.10)
大隈信常	1871.9-1947.1	早稲田大学教授(1903.1-1918.9)、早稲田大学名誉総長(1923-1947)、報知新聞社取締役社長(1927.12-1930.6)
大隈英磨	1856.10-1910.5	東京専門学校校長(1882.10-1887.8)、東京専門学校講師(1891.9-1902.9)、早稲田尋常中学校長(1896-1902)
大西祝	1864.9-1900.11	東京専門学校講師(1891.9-1898.2)、東京専門学校評議員(1897.7-1900.11)、京都帝国大学理工科大学講師(1900.3)、主な著作に『良心起原論』(警醒社書店, 1904)

氏名	生没年	主な業績
大浜信泉	1891.10-1976.2	早稲田大学大学部法学科卒業 (1918.7)、早稲田大学教授 (1927.11-1961)、早稲田大学総長 (1954.10-1966.5)、沖繩問題懇談会座長 (1966.9-1967)、財団法人沖繩協会会長 (1972.9-1976.2)
大山郁夫	1880.9-1955.11	早稲田大学大学部政治経済学科卒業 (1905.7)、早稲田大学教授 (1915.1-1917.9, 1921.4-1927.1, 1947.4-1951.3)、大阪朝日新聞社 (1917.12-1918.10)、福田徳三・吉野作造らと黎明会に参加 (1918.12)、衆議院議員 (1930.2-1932.1)
岡山兼吉	1854.7-1894.5	東京専門学校創設に参画 (1882.10)、東京専門学校講師 (1882.10-1885.6)、東京専門学校移転を主張 (1884.12-1885.6)、英吉利法律学校講師 (1885.9-)
小野梓	1852.3-1886.1	共存同衆評衆 (1880.4-)、会計検査院一等検査官 (1881.8-1881.10)、東京専門学校創設を主導 (1882.10)、主な著作に『国憲汎論』上中下 (丸善書店, 下巻のみ東洋館書店, 1882-1885)
金子馬治	1870.2-1937.6	東京専門学校・早稲田大学教授 (1893.9-1897, 1898.9-1900.9, 1903.9-, 1907.4-)、島村抱月とともに第一次『早稲田文学』の中心メンバー (1895-)、早稲田大学坪内逍遙記念演劇博物館館長 (1929.4)、主な著作に『時代思想の研究』(早稲田大学出版部, 1910)
川原田政太郎	1890.8-1983.9	早稲田大学大学部理工科卒業 (1915)、早稲田大学教授 (1926.4-1961.3)、電磁工業研究所 (のち電磁応用研究所) 創立 (1936.11-)、山本忠興と共同で誘導同期電動機、鏡車式テレビジョンを開発
岸本能武太	1866.2-1928.11	『六合雑誌』編集主任 (1897)、東京専門学校・早稲田大学教授 (1894.9-1895.1, 1895.9-1902, 1905.3-1928.11)、姉崎正治とともに比較宗教研究会を設立 (1896.11)
煙山専太郎	1877.6-1954.3	外交時報社 (1898.9-)、早稲田大学教授 (1911.6-1945.5, 1946.12-1948.3)、文化女子短期大学学長 (1950-1953)、主な著作に『近世無政府主義』(東京専門学校出版部, 1902)
小山宙丸	1927.8-2006.9	早稲田大学文学部卒業 (1951.3)、早稲田大学教授 (1969.4-1998.3)、早稲田大学総長 (1990.11-1994.11)、白鷗大学・白鷗大学女子短期大学部学長 (1997.4-2006.9)、主な著作に『比較宗教哲学への道程』(早稲田大学出版部, 1992)
今和次郎	1888.7-1973.10	早稲田大学教授 (1920.2-1959.3)、バラック装飾社設立 (1923.10)、日本生活学会設立 (1972.9)、主な著作に『モデルノロヂオー考現学』(吉田謙吉と共著, 春陽社, 1930)
阪田貞一	1857.8-1920.12	東京工業学校校長 (1898.2-1899.1)、早稲田大学理工科長 (1908.9-1916.9)、東京高等工業学校校長 (1916.9-1920.12)
塩沢昌貞	1870.11-1945.7	東京専門学校英語政治科卒業 (1891.7) 早稲田大学教授 (1907.4-1943.4)、早稲田大学学長 (1921.10-1923.5)、早稲田大学総長 (1923.5)、社会政策国際会議日本代表 (1924.10)
高田孝一	1893.9-1987.3	早稲田大学大学部商科卒業 (1917.7)、早稲田大学教授 (1923.10-1964.3)、早稲田大学総長 (1946.6-1954.10)、流通経済大学学長 (1965.4-)

氏名	生没年	主な業績
島田三郎	1852.12-1923.11	『毎日新聞』社長兼主筆(1894.5-1908.12)、衆議院議員(1890.7-1923.11)、東京専門学校議員・評議員(1882.10-1903.12)
島村瀧太郎 (抱月)	1871.2-1918.11	東京専門学校文学科卒業(1894.7)、東京専門学校・早稲田大学講師(1898.9-1902.3, 1905.9-1916)、文芸協会創立に参画(1906)、『早稲田文学』再刊(1906)、松井須磨子らと芸術座を組織(1913)
砂川雄峻	1860.3-1933.4	東京専門学校創設に参画(1882.10)、東京専門学校講師(1882.10-1883.11)、大阪代言人組合会長(1884-)、早稲田大学校賓(1924.12-)
高田早苗 (半峰)	1860.4-1938.12	東京専門学校創設に参画(1882.10)、早稲田大学学長(1907.4-1915.8)、早稲田大学総長(1923.5-1931.6)、文部大臣(1915.8-1916.10)
竹内明太郎	1860.2-1928.3	唐津鉄工所設立(1908)、早稲田大学理工科開設に尽力(1908頃-)、小松製作所設立(1921.5)、早稲田大学校賓(1924.12-)
田中穂積	1876.2-1944.8	東京専門学校邦語政治科卒業(1896.7)、早稲田大学教授(1911.5-)、早稲田大学商学部長(1920.4-1923.9)、早稲田大学総長(1931.6-1944.8)、文部省教学局参事(1937.12-)
津田左右吉	1873.10-1961.12	東京専門学校邦語政治科卒業(1891.7)、南満州鉄道株式会社満鮮地理歴史調査部研究員(1908.4-1914.3)、早稲田大学文学部教授(1920.4-1940.1)、出版法違反で起訴(1940.3-1944.11)、主な著作に『文学に現はれたる我が国民思想の研究』全4冊(洛陽堂, 1916-1921)
坪内雄蔵 (逍遙)	1859.6-1935.2	東京専門学校・早稲田大学教授(1883.8-1915.8)、『早稲田文学』創刊(1891)、文芸協会を組織(1906)、主な著書に『小説神髓』(松月堂1885-1886)
手島精一	1850.1-1918.1	東京職工学校・東京工業学校・東京高等工業学校校長(1890.3-1916.9)、早稲田大学理工科の開設に尽力(1908-)、東京大正博覧会審査部長(1914.2-)
時子山常三郎	1900.4-1984.6	早稲田大学政治経済学部卒業(1927.3)、早稲田大学教授(1949.4-1971.3)、早稲田大学雄弁会会長(1949.10-1970.5)、早稲田大学総長(1968.6-1970.10)
内藤多仲	1886.6-1970.8	早稲田大学教授(1912.1-1957)、早稲田大学理工学部長(1944-)、高層建築の耐震構造法を確立、代表作に通天閣(1955)、東京タワー(1958)
永井柳太郎	1881.4-1944.12	早稲田大学大学部政治経済学科卒業(1905.9)、早稲田大学講師・教授会議員(1909.9-1917.9)、衆議院議員(1920.5-)、民政党幹事長(1931.6-)、大政翼賛会常任総務(1940.10-)
中野登美雄	1891.7-1948.5	早稲田大学大学部政治経済科卒業(1916.6)、早稲田大学教授(1924.10-)、文官高等試験臨時委員(1942-1944)、早稲田大学総長(1944.9-1946.1)、主な著書に『統帥権の独立』(有斐閣, 1934)
鳩山和夫	1856.10-1911.10	東京大学法学部講師(1880.8-1882.1, 1884.1-)、東京専門学校・早稲田大学講師(1889.7-1890.8, 1892.9-1893.1, 1902.9-1907.4)、東京専門学校校長(1890.8-1907.4)

氏名	生没年	主な業績
平沼淑郎	1864.3-1938.8	大阪市助役(1898.10-1901.6)、早稲田大学教授(1911.6-1938.8)、早稲田大学学長(1918.10-1921.10)、主な著作に『近世寺院門前町の研究』(早稲田大学出版部, 1957)
前島密	1835.2-1919.4	東京専門学校校長(1887.9-1890.8)、通信次官(1888.11-1891.3)、立憲改進黨結成に参加(1882.4-)、近代郵便制度の基礎を確立
増田義一	1869.11-1949.4	東京専門学校邦語政治科卒業(1893.9)、実業之日本社主兼主筆(1900-)、衆議院議員(1912.5-1914. 1924.5-)、早稲田大学維持員(1918.10-1947.3)、早稲田大学理事(1931.10-1944.3)
村井資長	1909.11-2006.3	早稲田大学工学部卒業(1933.3)、早稲田大学工学部教授(1954.4-)、早稲田大学総長(1970.10-1978.11)、恵泉女学園大学学長(1988-1989)
矢野文雄 (龍溪)	1851.1-1931.6	報知社社長(1882.1-1888.2, 1889.2-1890)、立憲改進黨員(1882.3-1890.8)、東京専門学校議員・評議員(1882.10-1903.12)、主な著書に『斉武名士経国美談』前後編(報知社, 1883, 1884)
山田一郎	1860.7-1905.5	東京専門学校創設に参画(1882.10)、東京専門学校講師(1882.10-1885.6)、『静岡大務新聞』客員(1885.11-1889)、『富山日報』主筆(1889.4-1890.6)
山田喜之助	1859.6-1913.2	東京専門学校創設に参画(1882.10)、東京専門学校講師(1882.10-1885頃)、英吉利法律学校創立に尽力(1885.9)、大審院判事(1890.10-1891.1)
山本忠興	1881.6-1951.4	早稲田大学教授(1912.9-1944.4)、早稲田大学陸上競走部部长(1917.7-)、日本陸上競技連盟副会長(1925-1945.12)、誘導同期電動機やテレビジョンの発明・研究をおこない、十大発明家の一人に選出される(1930.12)
吉江喬松 (孤雁)	1880.9-1940.3	早稲田大学文学部英文学科卒業(1905.7)、早稲田大学教授(1913.9- or 1915.4-)、早稲田大学文学部長(1930.10-)、早稲田大学文学部比較文学研究室創設(1934)、主な著書に『仏蘭西古典劇研究—ラスィヌの悲劇』(新潮社, 1931)